

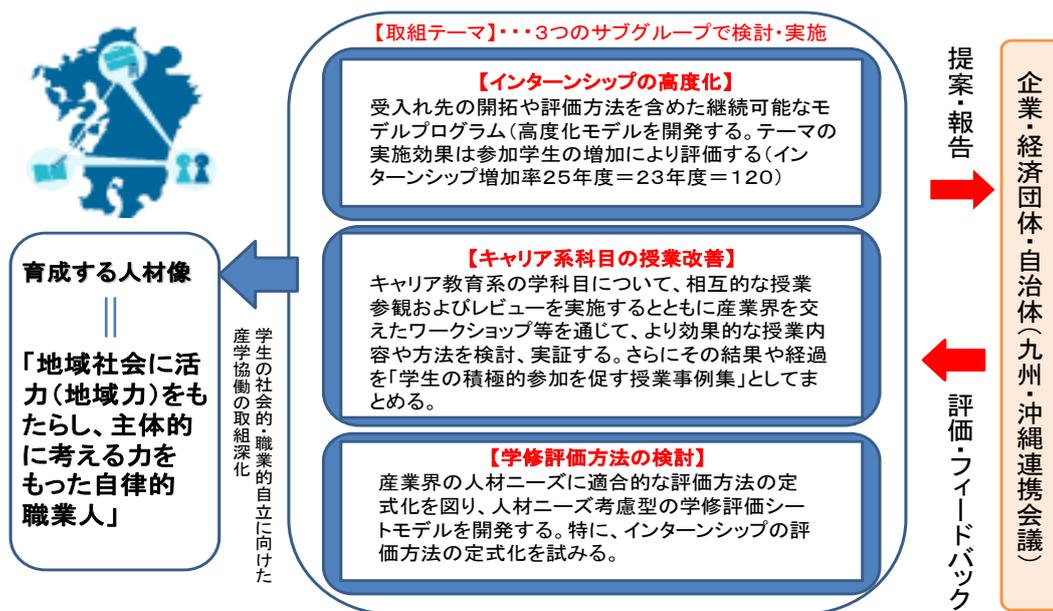
**産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業
【テーマA】教育改善・充実体制整備 最終評価結果**

大学グループ名	福岡工業大学グループ
取組名称	地域力を生む自律的職業人育成プロジェクト
取組テーマ	インターンシップの高度化、キャリア系科目の授業改善、学修評価方法の検討
取組担当者	福岡工業大学 教務部長 前田 洋
連携校名 (★幹事校)	佐賀大学、大分大学、鹿屋体育大学、琉球大学、下関市立大学、北九州市立大学、福岡県立大学、熊本県立大学、九州共立大学、九州国際大学、西日本工業大学、★福岡工業大学、福岡国際大学、西九州大学、長崎外国語大学、長崎国際大学、日本文理大学、九州保健福祉大学、鹿児島国際大学、鹿児島純心女子大学、九州女子短期大学、久留米信愛女学院短期大学、福岡医療短期大学 (計23校)

事業概要

本取組は、九州・沖縄及び山口地域における国公私立23大学・短大が連携して、当地の産業界の人材ニーズを踏まえながら、キャリア教育における3つのテーマ(インターンシップの高度化・キャリア系科目の授業改善・学修評価方法の検討)に関して、各大学の知見を集約するとともに産業界からの評価・フィードバックを受けながら、検討・実施を行い、大学生の社会的・職業的自立に向けた産学協働の取組を深化させることにより、「地域に活力(地域力)をもたらし、主体的に考える力を持った自律的職業人の輩出」を目指すものである。

※詳細については、<http://www.fit.ac.jp/q-needs/> を参照



最終評価結果<総合評価> A

《コメント》

3年という期間を効果的に生かし、年次を追っての発展が取組を通じて明らかである。具体的な成果物として、インターンシップの成果を可視化する方法としてのルーブリック評価の導入、10大学による授業参観等を評価したい。3年の取組を経て、グループ全体の方向性として「初年次から卒業までの連続的インターンシップ構築」を明確にできた。中でも「学修意欲喚起型インターンシップ」の取組は、構築に向けての最大の成果と評価できるものであり、他大学への情報発信に努めてもらいたい。

一方で、密に会合を重ねるなど、連携体制構築のための幹事校の努力は認められるものの、グループ全体としての具体的な成果は十分とはいえない。今後も連携活動を継続し、モニタリングによって途中課題を明確にしながら、体制を強化することが望まれる。また、事例集等の成果物を教育にどのように生かしていくのか、今後の継続的な取組が重要な課題である。なお、ルーブリック評価については、全ての連携校に導入が必要か改めて検証し、各校の特徴も考慮した上で、それぞれの学校にとって適切な評価方法を導入されたい。